

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウィザード	Lv.1:	メイジ	レベル	10
サポートクラス	メイジ	Lv.1:	メイジ	性別	男
称号クラス				年齢	72
種族	エルダナーン			境遇	紛失
出自 (効果)	秘密結社			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	8	8	25	18	19	7
ボーナス	2	2	2	8	6	6	2
クラス修正	0	0	0	3	3	2	0
他修正							
能力値	2	2	2	11	9	8	2

HP	65
MP	120
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	封精魔杖・火	至近	-1	5	0	0	0	0	0
左手									
頭部	封精頭巾		0	0	0	3	0	0	0
胴部	封精長衣		0	0	0	5	2	0	0
補助	マナカラーリング		0	0	0	0	1	0	0
装身具	真理の書								
能力値			2	0	2	0	8	11	7
スキル									
その他									
総計(右)			1	5					
総計(左)			2	0	2	8	11	11	7
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	11			11	+ 3 d
アイテム鑑定	11			11	+ 2 d
魔術判定	11			11	+ 4 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ	
バックパック	雑音符
	高級トパーズ
ポーションホルダー	耐毒符
MPポーション*5	
上等な衣服	
香水	
アクセサリー (ピアス)	
アクセサリー (指輪)	
アクセサリー (ネックレス)	

現在重量:	14	所持金:	28111	預金・借金:	
最大重量:	14				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に知力基本値+3								
マジシャンズマイト	○	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔法攻撃ダメージ+(SL)d								
ファイアボルト	★	6	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: [2d+10]<火>魔法攻撃								
コンセントレイション	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔術判定+1d								
ファイアロード	○	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: <火>魔法ダメージ+[SL*4]								
マジックブラスト	2	3	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果: 魔術を「対象: 範囲 ([SL*2]体)」に								
リゼントメント	★	-	効果参照	-	自身	自動成功	1/Sr	
効果: 攻撃と同時。「対象: 単体※」、魔法ダメージ+[CL*10]								
イフリート・シマー	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: <火>魔法でダメージ時、対象の命中判定-1d。ラウンド終了まで								
エルダーマジック	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔術判定+1d								
アースバレット	★	6	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: [2d+5]<地>魔法攻撃、与ダメージ[スリップ]付与								
アースブレイカー	○	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: <地>魔法ダメージ+[SL*4]								
マジックフォージ	3	3	DR直前	-	自身	自動成功	1/Sn	
効果: 魔法攻撃ダメージ+[SL*2]d								
マジックゲイザー	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔法攻撃ダメージ+1d								
ブーストマジック	★	5	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃ダメージ+【感知】								
オフェンシブセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔法攻撃ダメージ+3								

イカしたものが大好きな、ナルシストエルダナーン。長身痩躯のまごうことなき美形。  
 "オシャ"で満ち溢れたこの世界を謳歌している。  
 彼の考える"イカしたもの"の許容範囲はかなり広く、また惹かれた物に対しては積極的に食いつくため、言い換えれば非常にノリが良い一面がある。

====与本話====  
 彼には一つ、どうも脳に落ちないことがある。  
 どうやら世間では、<水>魔法や<風>魔法に知的なイメージが付きまとい、<火>魔法は野蛮な印象が持たれているらしい。やれやれ。何もわかっていない。  
 <水>魔法も<風>魔法も<地>魔法も、皆やっていることは対象に衝撃を与えた物理的破壊でしかない。  
 ただ手段が違うだけで、もたらされる結果はその辺りの武器で攻撃するのと何ら変わりがないのだ。  
 一方、<火>魔法は違う。対象に化学変化を起こし他の物質へと変質させることができる、唯一無二の攻撃手段なのである。  
 こんなイカした"激オシャ"を高度と言わずして何というのだ。  
 今日も彼は、誇りを以て<火>魔法を振るう。

